

平成28年度第3回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 平成28年11月29日（火）
午前10時30分～
会 場 中央生涯学習センター
205・206 学習室
（中央生涯学習センター2階）

次 第

1 開 会

2 議 題

- (1) 宇都宮市民大学運営協議会役員の選出について（会長・副会長）・・・資料1
- (2) 宇都宮市民大学運営協議会役員の選出について（監事）
- (3) 平成28年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について・・・資料2
- (4) 平成29年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ
企画講座の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

3 そ の 他

4 閉 会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(平成28年9月1日～平成30年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職
1	あいは えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
2	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
3	こだち ちゅうじ 小太刀 忠治	宇都宮共和大学 事務局次長
4	こばり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら 主任研究員
5	さじま まさお 佐鋪 政男	宇都宮大学 企画広報部企画広報課 課長補佐
6	すずき かずよし 鈴木 和芳	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
7	たかせ かずや 高瀬 一也	株式会社 栃木放送 報道制作局長
8	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
9	ますだ としかず 増田 寿一	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
10	みこがい ひさお 御子貝 久男	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

(五十音順)

◎ 会長 ○ 副会長 ◇ 監事

宇都宮市民大学運営協議会運営要領

適用 平成 4 年 5 月 1 日
平成 12 年 7 月 1 日
平成 14 年 9 月 1 日
平成 16 年 4 月 1 日
平成 22 年 4 月 1 日
平成 22 年 9 月 1 日
平成 26 年 9 月 1 日
平成 27 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この要領は、宇都宮市民大学実施要綱（以下「要綱」という。）第 4 条第 4 項に規定する宇都宮市民大学運営協議会（以下「協議会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、宇都宮市民大学に関し次の各号に掲げる事務を行う。

- (1) 講座の企画の承認に関すること
- (2) 運営に関すること
- (3) 予算及び決算の承認に関すること
- (4) 市内高等教育機関との共催事業に関すること
- (5) その他必要と認める事項

(組織)

第 3 条 協議会は、委員 10 人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから要綱第 4 条第 2 項に規定する学長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 生涯学習関係者
- (3) 宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

3 協議会は、専門講座の企画運営の選考をさせるため、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会を設置することができる。

4 第 2 項の委員のうち 1 名は、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員を兼ねるものとする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員がこれを互選する。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長が必要であると認めるときは、協議会の委員以外の者の出席を求めることができる。

5 前項に定める出席を求められた者は、議事の決定に加わることはできない。

(監査)

第7条 協議会に監事2人を置き、会長がこれを指名する。

2 監事は、協議会の会計を監査する。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、要綱第4条第5項に規定する事務局（教育委員会事務局生涯学習課）が処理する。

(補則)

第9条 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

平成 28 年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

1 合同開講式・公開講座

平成 28 年度後期合同開講式・公開講座を下記のとおり開催した。

(1) 開催日時

平成 28 年 10 月 21 日（金） 午後 2 時～午後 4 時

(2) 会場

宇都宮大学 峰キャンパス 大学会館 2 階 多目的ホール

(3) 参加者数

176 名

(4) 合同開講式

ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市 副市長 高井 徹
宇都宮大学 学長 石田 朋靖 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会教育長より受講者代表 2 名へ交付

イ 受講者の感想・意見

- ・ 学ぶ意欲が高まった。
- ・ 市と大学の連携がよく理解できた。
- ・ 開講式で毎回市内の大学に行き、その大学について知る事ができ、良い事と思う。
- ・ 合同開講式の必要性が感じられない。

ウ 評価

受講者のアンケートでは、8 割以上が「意義があり良かった」と肯定的な見解を示しており、前回よりも評価が高くなっている。

また、受講者が一堂に会することや共催である宇都宮大学で実施したことは、受講者の学習意欲の高揚及び、満足度の向上に繋がったものと考察される。

(5) 公開講座

ア 実施内容

- ・ 講 師 大森 玲子 氏
(宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授)
- ・ テ ー マ 地域の未来は「おいしく」つくる ～食育によるまちづくり～
- ・ 講義内容 栄養や健康を切り口に、「食」に関する話題に触れながら、食育によるまちづくりについて学ぶ講座。

イ 受講者の感想・意見

- ・ 実生活に役立つ知識が得られた。
- ・ 盛り沢山の資料を使った受講者参加型の講義でとても楽しかった。
- ・ 今まで地域とのつながりがほとんどなかったが、この講義をきっかけに地域とのつながりを考え、行動していきたいと思った。
- ・ 全員に共通する意義ある講座は困難であり、公開講座は必要ないと思う。

ウ 評価

受講者アンケートでは、「とても良かった」「どちらかといえば良かった」との意見が10割に迫り、非常に満足度の高い講座であった。

講義は、まちづくりと食を融合した新たな視点から、豊富なデータをもとに進められ、「分かりやすかった」といった肯定的な意見が多く見られた。また、受講者が自らの食生活を振り返る演習等が好評であったこともあり、高い満足度に繋がったものと考察される。

⇒ 別紙1参照

2 専門講座

平成28年度後期は6講座の専門講座を開催中。

(すべての専門講座において、公開講座を必修科目として位置づけている。)

(1) 講座数

6講座 (※公開講座を除いた回数はそれぞれ5回～7回)

(2) 周知方法

広報うつのみや (平成28年9月号)、市ホームページ、パンフレット、チラシ、新聞記事

(3) 開催期間

平成28年10月27日～12月16日 (公開講座を除く)

(4) 募集定員等

募集定員300名、応募者数515名、受講者数404名

(5) 講座内容

⇒ 別紙2参照

平成 29 年度宇都宮市民大学 V スタッフ企画講座の決定について

1 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催状況

- (1) 開催日 平成 28 年 11 月 9 日 (水)
- (2) 場 所 人材かがやきセンター研修室
- (3) 出席者 委員 9 名
⇒ 別紙 3 参照
- (4) 応募数 20 企画
⇒ 別紙 4 参照
- (5) 審査方法 企画者によるプレゼンテーションの審査
- (6) 選考数 9 講座 (3 コース)
- (7) 選考基準 ⇒ 別紙 5 参照

【参考】

コース	内 容
I 郷土を愛する 地域・文化・歴史コース	地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質を学び、郷土に誇りや愛着をもつための講座
II 今を読み解く 現代社会コース	個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしに生かしていく知恵を学ぶ講座
III 暮らしを彩る教養コース	芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

2 選考結果

コース別選定状況は下記のとおり。

分野(コース)	(調整前) V スタッフ企画			(調整後) V スタッフ企画		
	前期	後期	合計	前期	後期	合計
I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース	1	2	3	1	2	3
II 今を読み解く現代社会コース	0	1	1	1	1	2
III 暮らしを彩る教養コース	3	2	5	3	1	4
合計	4	5	9	5	4	9

- ※ 講座のバランス等を総合的に考慮し、III コースの 1 企画を II コースへ変更。
II コースの 1 企画を後期実施から前期実施に調整。

(1) 「I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース」

【選考結果】

4グループから5本の企画提案があり、No.1, No.3, No.4の3企画を選定した。

【講座内容】

No.1 修復師から見た日光の社寺

～日本の宝を後世に伝える伝統職人の技～

平成の大修理が行われている日光の社寺や修復に携わる職人を知ることにより、伝統美術の振興に尽力した人々の軌跡や文化財保護がもたらす効果について学ぶ講座。日本美術の素晴らしさを再認識することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 県内の文化財に、修復師という視点からアプローチする魅力的な企画である。
- ・ タイムリーでニーズを捉えており、新規受講者の獲得や郷土愛の醸成につながるテーマである。

No.3 宇都宮の近現代史

～県庁移転から大空襲まで～

近現代の宇都宮に焦点を当て、県庁が移転してから大空襲に至るまでの歩みを学ぶ講座。宇都宮の歴史について理解を深めるとともに、歴史的事実を次世代への継承のきっかけとすることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 戦争の体験談を語り継ぐ貴重な企画と考える。
- ・ 近現代は学校でも学ぶ機会が少なく、宇都宮に特化すると資料も少ないことから、深く知ってもらえる良い企画である。

No.4 歴史のターニングポイント

～秀吉の宇都宮・会津仕置から家康の小山評定～関が原の戦い～

豊臣秀吉が行った「宇都宮・会津仕置」や徳川家康による「小山評定」等、県内を中心とした中世の歴史的動向を学ぶ講座。郷土の歴史を理解することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 歴史的な事件と郷土とをうまく結びつけている企画である。
- ・ 視聴率の高い時代劇の一場面として放送されるなど時機を得た企画であり、社会ニーズもあると考える。

(2) 「Ⅱ 今を読み解く現代社会コース」

【選考結果】

4グループから6本の企画提案があり、No.5, No.6の2企画を選定した。なお、No.6については、Ⅲのコースで選考を行ったが、全体のバランスと講座内容等を考慮し、Ⅱコースへ変更することとした。

【講座内容】

No.5 世界を見る，世界が見る，宇都宮

～踏み出そう！国際社会人への第一歩～

東京オリンピックの開催を前に、海外の国々や宇都宮と海外の関わりについて学ぶ講座。世界の国々についての知識を深め、国際感覚を強化することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ オリンピックやワールドカップがあり、市民の関心が高まっている中で、国際理解という着眼点が良い。
- ・ 交流の機会を作ることで、受講後の国際感覚に関する意識向上につながるのではと思う。

【ⅢコースからⅡコースへ変更】

No.6 どこまで進む人工知能（AI）

～AIは人間の知能を超えるのか～

世界中の注目を集め関心が高まっている人工知能の技術やその進歩により変化する社会を学ぶ講座。現在の人工知能の技術を正しく理解し、その進歩との関わりなどにについて考えることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ AIは生活の身近にきており、社会で必要となっているため、面白さがあり、興味を持たれると思う。
- ・ テレビ番組等で特集され、大きな反響を得ているなど、現代的なテーマ・内容であり、社会ニーズ・市民ニーズともにあると思う。

(3) 「Ⅲ 暮らしを彩る教養コース」

【選考結果】

5グループ、1個人から9本の企画提案があり、No.2, No.4, No.5, No.6の4企画を選定した。

【講座内容】

No.2 最新の宇宙研究

～宇宙138億年を旅する～

科学技術の発展により研究が進められている宇宙について学ぶ講座。宇宙についての知見や楽しみ方を広げることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 宇宙像の最先端の研究は、大変刺激的なテーマであると思う。
- ・ 国立天文台を訪れ、4次元ドームシアターを観覧する計画の館外学習は人気が出ると思う。

No.4 司馬遼太郎の世界

～今、現代世相を司馬史観が斬る～

小説家の司馬遼太郎が持つ独特の歴史観「司馬史観」を通し、現代の世相を考える講座。日本の抱えている社会的な問題を一市民として考えることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 有名な人物の歴史観を知り、現代の世相を知るという切り口は興味深い。
- ・ 現代の課題を正面から取り上げている点は評価できる。

No.5 日本刀の魅力を探る

～世界が認めた究極の美～

価値が見直され、国内外でブームになりつつある日本刀について取り上げる講座。日本刀を取り巻く現状を知るとともに、保存や技術の継承について考えることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 日本刀の新たな魅力の発見につながると思う。
- ・ 日本刀は奥が深いと思うが、内容に広がりを持たせた方が良い。

No.6 円空仏の微笑みに魅せられて

～知られざる謎の仏師～

江戸時代の仏師である円空や円空が残した仏像「円空仏」について学ぶ講座。円空の生きた時代に思いを馳せ、仏像の見方を広げることねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 円空と県内の関連も踏まえており、関心が高いと思う。
- ・ 木彫仏より円空にしぼって学習する企画は、興味深く、生涯学習を行ううえで良いテーマと思う。

平成28年度宇都宮市民大学後期合同開講式・公開講座実施報告

別紙1



◇開催日時:平成28年10月21日(金) 午後2時～午後4時
 ◇開催場所:宇都宮大学 峰キャンパス 大学会館2階多目的ホール
 ◇受講者数:176名
 ◇アンケート回収数: 98名(55.7%)
 ◇出席主催者:14名

受講者について(全体)		区分	人数	割合
<p>(1) 年齢</p>		1 20歳未満	0	0%
		2 20代	0	0%
		3 30代	0	0%
		4 40代	0	0%
		5 50代	4	4%
		6 60代	50	51%
		7 70代	33	34%
		8 80歳以上	11	11%
		無回答	0	0%
		合計	98	100%
<p>(2) 性別</p>		区分	人数	割合
		1 男性	59	60%
		2 女性	36	37%
		無回答	3	3%
	合計	98	100%	
<p>(3) 公開講座と専門講座</p>		区分	人数	割合
		1 公開講座のみ受講	4	4%
		2 公開講座と専門講座を受講	92	94%
		無回答	2	2%
	合計	98	100%	
<p>アンケート結果 合同開講式について</p>		区分	人数	割合
		1 とても意義がありよかった	32	33%
		2 どちらかといえば意義があった	50	51%
		3 どちらかといえば意義があるとはいえない	10	10%
		4 意義があるとはいえない	1	1%
		無回答	5	5%
		合計	98	100%
<p>公開講座について</p>		区分	人数	割合
		1 とてもよかった	79	81%
		2 どちらかといえばよかった	17	17%
		3 どちらかといえばよくなかった	0	0%
		4 よくなかった	0	0%
		無回答	2	2%
		合計	98	100%

No.	講座名 (開講数) 【講座コース】	講師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数
1	下野の明治維新 ～尊王攘夷運動・世直し一揆から 栃木県の成立へ～ (全7回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	宇都宮市文化財保護審議会委員 大嶽 浩良 氏	11/1 ～12/13	(40) [112] 78
2	地域の未来を科学の力で ～地域デザインによるまちづくりの ススメ～ (全7回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 教授 高橋 俊守 氏 同 上 社会基盤デザイン学科 教授 大森 宣暁 氏 同 上 建築都市デザイン学科 教授 中島 史郎 氏 同 上 社会基盤デザイン学科 教授 池田 裕一 氏 同 上 建築都市デザイン学科 准教授 横尾 昇剛 氏 同 上 コミュニティデザイン学科 講師 鈴木 富之 氏 同 上 社会基盤デザイン学科 助教 長田 哲平 氏	11/4 ～12/16	(40) [21] 19
3	知って得する，大人の常識！ ～考えよう。備えよう。楽しく生きる道！ ～ (全7回) 【今を読み解く現代社会コース】	ナチュラルライフコーディネーター・フードセラピスト 熊倉 恵子 氏 栃木県済生会 宇都宮病院 緩和ケア科 主任診療科長 粕田 晴之 氏 さくら・ら心療内科 院長 加藤 和子 氏 フィットネスインストラクター ココフィット 代表 富田 悦子 氏 株式会社オースタム 代表取締役社長 鈴木 松男 氏 栃木県消費生活センター 消費生活相談員 のぞみ法律事務所 弁護士 増子 孝徳 氏	11/4 ～12/16	(50) [71] 65
4	戦国ミステリー・本能寺の変 ～歴史捜査から見えた真実～ (全7回) 【暮らしを彩る教養コース】	宇都宮共和大学 シティライフ学部 教授 鈴木 健一 氏 歴史研究家 明智 憲三郎 氏 甘楽町ボランティアガイド	10/27 ～12/15	(50) [123] 79
5	今こそ「方丈記」 ～迷い多きこの時代にこそ 「方丈記」を読みほどこきませんか～ (全6回) 【暮らしを彩る教養コース】	大東文化大学 名誉教授 関口 忠男 氏	10/31 ～12/5	(50) [107] 90

No.	講座名 (開講数) 【講座コース】	講師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数
6	運慶仏の魅力を読み解く (全5回) 【暮らしを彩る教養コース】	文星芸術大学 准教授 大澤 慶子 氏	11/10 ~12/8	(70) [81] 73
合 計				(300) [515] 404

※ () の回数には、公開講座を除く

宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿

任期：宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領第4条の規定による期間
(平成28年9月1日～平成30年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職	
1	江田 壮一	宇都宮短期大学 事務局次長	
◎ 2	川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長	
3	菊池 幸男	株式会社 とちぎテレビ 役員待遇放送本部長兼報道制作局長兼報道部長	欠席
4	佐藤 英雄	株式会社 エフエム栃木 常務取締役業務推進本部長	
○ 5	島田 繁雄	宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長	
6	平野 紀子	栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所 所長補佐兼ふれあい学習課長	
7	丸山 純一	文星芸術大学 美術学部 教授	
8	大久保 敦子	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 課長	
9	高賀 薫	宇都宮市教育委員会 中央生涯学習センター 所長	
10	矢野 さおり	宇都宮市教育委員会事務局 人材かがやきセンター 地域教育指導員	

(五十音順)

◎ 委員長 ○ 副委員長

平成28年度宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会選考結果一覧表(調整後)

(平成28年11月9日実施)

※平成29年度実施 Vスタッフ企画運営専門講座数 9講座

コース	番号	講座名	時期	企画者	得点	コース順位	全体順位
地Ⅰ 域・郷 土文化を 愛する 歴史	①	修復師から見た日光の社寺 ～日本の宝を後世に伝える伝統職人の技～	後期	中八連	194	1	1
	2	あなたの住んでいる地盤・地形は大丈夫ですか ～防災に役立つミニ知識～	前期	ともしび	122	5	17
	③	宇都宮の近現代史 ～県庁移転から大空襲まで～	前期	ともしび	165	3	6
	④	歴史のターニングポイント ～秀吉の宇都宮・会津仕置から家康の小山評定～関ヶ原の戦い～	後期	宙(そら)	167	2	5
	5	郷土が誇る美術作品 ～美術館めぐりがいっそう楽しくなる～	後期	ジャンプ	136	4	13
Ⅱ 今を読み 解く現 代社会	1	今こそ法律を学ぼう！ ～“法律とは何か”から、“各種法律”を今注目の事例で学ぶ～	前期	ジャンプ	140	4	12
	2	老いを笑って暮らすために ～あるがままに生きよう～	後期	ともしび	141	3	11
	3	近年の気象災害に備えて ～経験したことのない大雨・あなたならどうする～	後期	ともしび	133	5	16
	4	子どもの発達のしかたを知ってあせらないで！ ～今 何がいちばん大切なんですか～	前期	ともしび	117	6	19
	⑤	【後期から前期へ変更】 世界を見る、世界が見る、宇都宮 ～踏み出そう！国際社会人への第一歩～	前期	宙(そら)	152	2	8
	⑥	【ⅢコースからⅡコースへ変更】 どこまで進化する人工知能(AI) ～AIは人間の頭脳を超えるのか～	後期	グループ緑	181	1	3
Ⅲ 暮らしを 彩る教 養	1	江戸の科学力！！ ～世界最高の自然科学は江戸時代に始まった～	後期	みやの塾	143	5	10
	②	最新の宇宙研究 ～宇宙138億年を旅する～	前期	みやの塾	168	2	4
	3	日本版ピラミッド 古墳の旅 ～古代人のタイムカプセルから～	後期	みやの塾	136	6	13
	④	司馬遼太郎の世界 ～今、現代世相を司馬史観が斬る～	後期	宇賀神光夫	156	3	7
	⑤	日本刀の魅力を探る ～世界が認めた究極の美～	前期	宙(そら)	151	4	9
	⑥	円空仏の微笑みに魅せられて ～知られざる謎の仏師～	前期	ともしび	186	1	2
	7	知っておきたい食品表示の読み方 ～原材料から食品添加物まで～	後期	ともしび	134	7	15
	8	超入門！水墨画・俳画 ～観て楽しみ、描いて愉しみ、そしてボケずに長生き～	後期	ジャンプ	112	9	20
	9	苗字と家紋のはなし ～ご先祖がしの旅をしませんか～	前期	中八連	122	8	17

「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている